Creative Enzymes®

バクテロイデス・フラジリス由来のグリコーゲン分岐酵素、組換え

Cat. No. NATE-1209

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グリコーゲン分岐酵素は、グリコーゲンの合成中に成長するグリコーゲン分子に分岐を追加する酵素です。より具体的には、グリコーゲン合成中に、グルコース1-リン酸分子がウリジン三リン酸（UTP）と反□して、活性化されたグルコースの形であるUDP-グルコースになります。UDP-グルコースの活性化されたグルコシルユニットは、その後、グリコーゲンの末端残基のC-4のヒドロキシル基に転送され、α-1,4-グリコシド結合を形成します。この反□はグリコーゲン合成酵素によって触媒されます。重要なことに、グリコーゲン合成酵素はα-1,4-グリコシド結合の合成のみを触媒することができます。グリコーゲンは容易に動員可能なグルコースの貯□形態であるため、□張されたグリコーゲンポリマーはグリコーゲン分岐酵素によって分岐され、グリコーゲン分解酵素（例えば、グリコーゲンホスホリラーゼ）に迅速な分解のための多数の末端残基を提供します。分岐はまた、グリコーゲンの溶解度を重要に高め、浸透□の強度を低下させます。
別名	分岐酵素、アミロ-(1,4→1,6)-トランスグリコシラーゼ; Q-酵素; α-グルカン分岐グリコシルトランスフェラーゼ; アミロース異性化酵素; 酵素的分岐因子; 分岐グリコシルトランスフェラーゼ; 酵素Q; グルコサン・トランスグリコシラーゼ; グリコーゲン分岐酵素; 植物分岐酵素; α-1,4-グルカン:α-1,4-グルカン-6-グリコシルトランスフェラーゼ; デンプン分岐酵素; 1,4-α-D-グルカン:1,4-α-D-グルカン 6-α-D-(1,4-α-D-グルカノ)-トランスフェラーゼ

製品情報

由来	バクテロイデス・フラジリス NCTC 9343
形態	3.2 M 硫酸アンモニウムに供給され、0.5 M イミダゾールおよび 0.5 M NaCl を含み、pH は約 6.8 です。
EC番号	EC 2.4.1.18
CAS登□番号	9001-97-2
分子量	81104.6 Da
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	50.88 U/mg (pH 7.0; 3.3 mg/mL スターチ)
濃度	330.14 U/ml
最適pH	~ 7.0
最適温度	> 37°C
単位定義	1単位は、反□混合物が41.7 mMのリン酸ナトリウム緩衝液（pH 7.5）中に0.69 mg/mLのBSAと173.6 mMの塩化ナトリウムを含み、使用前に完全に溶解させるために5分間加熱した3.33 mg/mLのデンプンを含む場合に、1分間に1.0吸光度単位の低下を引き起こすのに必要な酵素の量として定義されます。また、反□混合物の0.050 mL（酵素を不活性化するために5分間加熱されたもの）を1.0 mLのヨウ素試□（0.5 mg/mLのヨウ素と1 mg/mLのヨウ化カリウムを水に溶かしたもの）と混合し、660 nmで測定する前に行います。

使用法とパッケージング

調製方法	使用前に酵素沈殿物を完全に均一化するために、バイアルを十分に振とうしてください。

保管・発送情報

保存方法	4°Cで保管してください（常温で発送されます）